

岡山大学病院ますかっと病児保育ルーム Newsletter VOL. 36(2026.2)

今年に入って岡山でも地震がありました。皆様の施設では有事の際の備えは万全でしょうか?日本は地震大国ともいわれ、保育中に突発的な揺れが発生するリスクは常に存在します。子どもの命を預かる保育園・幼稚園にとって、事前の備えと迅速な対応は不可欠です。もしもの時に冷静に対応できるように防災意識を高めていきましょう。



地震の時の保育者的心構え

あわてない

- まずは、慌てず冷静になりました。ひと呼吸おいてから行動に移すようにしましょう。

情報を集める

- 地震の程度は?津波は来るか?など正確な情報を集めましょう。

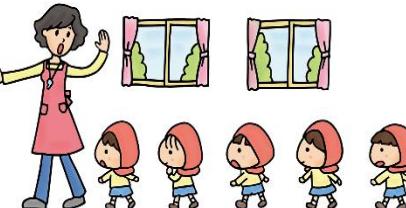
子どもを安心させる

- 子どもたちに「今」「どんな状況」で「これからどうするか」などのことを伝えましょう。子どもの安心につなげるためにも、保育者が落ち着いた態度で対応しましょう。

実際の対応

①周囲の安全を確認

まずは、周囲の安全を確認しましょう。倒れてくるものやガラスの破片が落ちていないかなど十分に確認します。火事や津波など二次被害にも注意しながらの対応も大切です。



②避難経路を確保

地震で建物が歪んでしまうと扉が開かなくなることも少なくありません。部屋の窓や扉、玄関の扉を開けましょう

③保育者の連携

保育者間の情報共有、役割の分担など大切です。

④事故やケガの確認

子どもはもちろん保育者にもケガがないかチェックしてください。ケガの場合は、症状に合わせた応急処置をしましょう。

⑤子どもへのケア

地震が起きたことにより、パニックを起こしてしまう場合もあります。大きな揺れに不安を感じ、泣き出してしまうことも少なくありません。恐怖心をあおらないように、安心できる声掛けをしたり、手を握る、体をさするなどのスキンシップをとりましょう。子どもたちの好きな手遊び歌をしながら、楽しい雰囲気を作るのもいいでしょう。保育者がいつも通りしていることが大切です。

防災教育

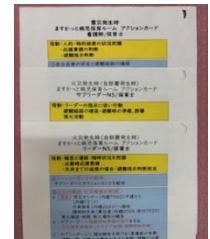
…子どもたちが自分自身で身を守るために方法を教える必要があります

<<避難する時の大切な5つのお約束>>



*防災教育は子どもたちだけでなく、保護者の防災意識を高めることで、子どもの防災力も高まります。

ますかっと病児保育ルームでは、常日頃から防災対策マニュアルに沿って、保育室内の遊具や絵本などが棚から落ちないようにしたり、発災時に保育者同士が連携をして避難訓練を行っています。



アクションカード

利用定員、開設時間等

- 利用定員 6人
- 対象児童 生後6か月から小学校6年生まで
- 利用時間 月曜～金曜日

午前8時00分～午後5時30分まで

お問い合わせ

岡山市北区鹿田町2-5-1 歯学部棟3階
ますかっと病児保育ルーム
TEL 086-235-7301



ホームページはこちら

